

# 木栄会通信

## 令和7年 第29回木栄会総会

近年、書面開催が続いておりました総会ですが、今年は数年ぶりに会員の皆様にお集まりいただき総会、懇親会を開催いたしました。

会員の皆様のご協力を持ちまして無事に総会を終える事が出来ました。承認された議案は次の通りです。

- 第1号議案 令和6年度事業報告
- 第2号議案 令和6年度決算報告
- 第3号議案 令和6年度監査報告
- 第4号議案 令和7年度予算
- 第5号議案 令和7年度事業計画
- 第6号議案 令和6年度活動実績
- 令和7年度活動案



今回、頂きましたご意見、ご要望に対してご期待に沿えるよう運営を行ってまいりますので、引き続きご協力賜りますようお願い申し上げます。

### 営農所だより 福岡営業所

現在も残暑が続く中ですが、みなさまの体力は大丈夫でしょうか？  
備蓄米が放出されましたが、ブランド米は価格を大きく下げることなく未だ家計の負担となっています。

初夏のころ石破さんが今年度はお米の生産量を増やしてゆくと、田植え時期が終えたころにわけのわからないことを言い出してから、はや4ヶ月米価も高値が継続したまま、それに加えて各所で水不足が多発し、今期の新米がはじめても国産米は高値となるのではなかると心配しています。既に今年度の農協の買取価格である概算金が高くなっている新米は確実に値上がりとなるようです。高温に強い品種なども開発されているようですが、昨今の気候状況では水不足は不可避のため、そうなることは必然かもしれませんね。

気候の話題に触れたついでに気温について、少し述べさせていただきます。ここ数年、毎年のように過去最高(今年は一

9月号  
Vol. 146

毎月7日発行



発行所

株式会社 伊万里木材市場木栄会事務局

〒八四九一四二五二

佐賀県伊万里市山代町楠久津一四五番二〇

TEL 〇九五五二〇二一八三 (代表)

FAX 〇九五五二一八二八五五

猛暑などと言われ地球温暖化に拍車がかかっているのは、みなさんご存知だと思いますが、意外と知らない各地の気温についてです。特に全国の天気予報でも耳にする大分県日田市「今日は全国でもっとも気温が高かった」となど聞かれたことのある方も多いと思います。それが、九州・沖縄地方では観測開始以来40℃を超える酷暑日となったことではないのです。日本では他に北海道・中国地方でも同じく40℃を超えたことはなかったそうなのですが、今年の7月30日から8月2日にかけて中国地方の岡山県と広島県において、40℃を超えた気温が観測されました。どちらの地域も盆地だったようです。同じく盆地である大分県日田市でもっとも暑かったのは2018年8月13日に観測された39.9℃だそうです。昨年、連続猛暑日47日を記録した福岡県太宰府市でも観測開始以来最高となる気温は39.3℃と酷暑日とはならなかったようです。日田市の最高気温も近年ではなぞ7年前というのも意外ですね。

そして、私が一番意外に感じたのは沖縄県の最高気温です。沖縄県の観測史上最高だった気温は2016年7月5日に観測された36.1℃で最近の暑さから見ると数字だけだと涼しいのでは？と錯覚するくらい値となっています。もちろん平均気温でランキング付けると1位 沖縄県、2位 鹿児島県、3位 福岡県と続くくらい平均気温では南国ビッターなランキングとなっていますが、3位 福岡県、つてなりませんか？宮崎県や四国の太平洋沿岸部より福岡県の方が高温なのも意外でしたね。

世界的にみた熱波の要因として挙げられるのはヒートバーストという現象により50℃以上となることもあるようですが、日本での猛暑の多くの要因はフェーン現象という現象で標高の高い山が近くにあるほど吹きおろしの乾燥した風が高温となりやすいようです。九州・沖縄地方・中国地方には2,000m級の山がないため、フェーン現象による高温化は起きにくいようですが、日田地区は盆地のため、熱せられた空気が逃げにくく、周囲の山々からの暖かい吹きおろしの風により高温となりやすいようです。

そのような暑いさなかでしたが、福岡営業所の入荷は順調でした。連日の



猛暑の中でも伐採し、ご出荷されたお客様には感謝の気持ちでいっぱいです。買ひ方である製材所様についても屋内とはいえ製材に関わる方も暑くて大変だと思えます。熱中症対策も義務化され、事業者には法的な罰則規定も科せられるようになりましたが、それ以前に各人が無理せず、ご自愛しながら作業に従事されるよう切に願います。

8月半ばは大雨の影響により、九州北部での出材状況は少し落ちているようですが、福岡営業所近隣の市況としては、大きく変動はなくほぼ横ばい。杉は全般的に少し弱含み気味。その反面松に関しては少し強気の結果となっています。大雨以降、この辺りでは夕立に雷を伴う激しい雨が降っており、現在入荷されている材にはキクイムシによる虫害がちらほら見受けられます。ご出荷される際は早目の搬出をお願いしたく思います。

(福岡営業所 K所長)

## 本社 森林整備便り



本社森林整備課では、8月末の時点で下刈計画地90.24haに対し53.59ha、再造林計画地が46.47haに対して99.81haを実施しています。これを県別にすると下刈計画として佐賀県71,003ha、福岡県8,633ha、長崎県6,309haとなり再造林計画では佐賀県37,255ha、福岡県6,955ha、長

崎県4,778haとなっています。

植林作業では冬季の1〜1月後半から3月にかけて実施をしており、下刈り作業は6月頃から実施しています。近年では地球温暖化の影響などで夏季の気温が40度近く上る事が珍しくなく、日本の夏の気温は年々上昇しています。主な要因として、地球温暖化や都市のヒートアイランド現象が挙げられます。最近のデータによると、過去50年間で35度以上の猛暑日が増加しており、特に2024年には太平洋高気圧の影響で異常な暑さが観測されました。

長期的には、平均気温は100年あたり約1.3℃上昇していることが示されています。このような気温上昇は、日常生活に深刻な影響を及ぼしています。このような背景があり令和7年6月1日から熱中症対策が義務化されました。これらを受けて私たちも各事業体の方々へ事業をお願いする際には、熱中症対策としてさまざまなお願いをしており、例として一部上げると1時間ごとに15分の休憩と一日2回以上の水分補給、空調服を活用し、作業時間を調整して体調管理をお願いしています。

また、再造林においても下刈り作業を終えた計画地で苗木の枯れ等の被害が有りましたので、森林整備課の新人社員2名にも頑張ってもらい、補植作業を午前中と限定して、空調服を活用しながら行いました。苗木の成長を促す

ために『下刈り』は重要な作業です。場所によって雑草の成長が早い場所などでは苗木の成長も遅い傾向にありました。佐賀県では独自の品種としてサガンスギを推進されています。



私たちが補植を行った事業地でも植えられていて、このサガンスギは、成長速度が従来のスギの1.5倍で、30年で木材として利用できるようになっています。また、1.5倍の強さと花粉量の少なさという3つの特徴を兼ね備えています。このような効果があります。成長速度の向上、サガンスギは従来のスギと比べて成長速度が1.5倍で、これによって下刈りでも雑草に負けない速さで生着する事で下刈り作業の負担軽減にもつながります。今後もサガンスギの植林を推進していければと思います。



糸島  
事業所便り  
第2弾

長い夏の終わりが見えず残暑が厳しい日が続いていますが、皆様いかがお過ごしですか？熱中症などへの暑さ対策

も十分に行い日々を過ごしていただけだと思います。また、ゲリラ雷雨や線状降水帯による豪雨災害に被災された方は心よりお見舞い申し上げます。

糸島事業所の所在地でもある高来寺の地名は故事にあるとされ、高祖山登山道入り口に怡土城の十臺(中国式山城)がありま。元寇(蒙古襲来の際に犠牲になった蒙古兵・高麗兵)を供養したとされる耳塚(高麗塚)があり、その慰霊のために「高麗寺」というお寺を建立したと伝えられており、その故事が地名の由来になっているそうです。

さて、木の駅伊都山樫糸島事業所を取り巻く環境が大きく変わろうとしています。令和元年九月に「糸島産材サプライチエーン推進協議会」が設立されました。産官学が一体となって糸島産材のサプライチエーンの構築および推進に向けた事業に取り組み、林業及び木材関連産業の川上から川下までの循環型地域経済を確立する事を目的として活動が開始されました。マスタープラン作成及び実効性を高めるため森林管理組織の検討、環境に配慮した施設を行うための、伐採から搬出、再造林などカイドラインの検討、糸島市から搬出される糸島産材のブランド化への取り組みなど様々な事が検討され続け、今年で七年が経過しました。そこで新たに、森林管理組織「フォレストマネジメント」として今年度中令和七年に立ち上げるべく活動が開始されました。森林所有者への支援意図調査、林業事



## 木材動向①

## ◎素材

業体への支援集約化、施業同意などの業務を進めるため、先日、先進的な取り組み事例として、山口県長門市にある森林管理組織「一般社団法人リフォレ」などが二への視察研修が行われました。まだまだ解決すべき課題はあるようですが、長門市からの支援や協力もあり川上、川中、川下とそれぞれに特化した技術者を配置し連携が取れているようでした。

糸島市から運営委託を受け事業を進める弊社も、糸島産材推進協議会のメンバーであるため、糸島市内の森林整備、糸島産材の集荷及び流通、ブランド化など川上から川下まで貢献できるよう伊都山燦を活用し協力できればと考えています。森林管理組織設立に向けた活動は始まったばかりですが、地域社会の発展に貢献できるよう取り組んでまいりますので、引き続き皆様からのご支援、協力をよろしく願っています。(糸島事業所 C所長)

8月全社素材取扱量は27,700.0mの取扱いとなりました。8月は大型連休もあり先月に比べ取扱量は減少する事となり、社有林生産も酷暑と雨の影響で中々生産が上からず市売り材の確保に苦戦しましたが、佐賀森林管理署様より委託材の出荷や長崎

県より委託材の出荷をいただきまして普段以上の市売り数量となりました。ありがとうございます！

製品動向を聞けば厳しい状況ではありますが、素材の入札雰囲気としては上向きなまでは言えませんが、まだまだ前向きな入札でした。

## ◎8月市売結果

◎松丸太は4m1618cm 直23,830円/m<sup>2</sup> 4m1618cm 小曲22,090円/m<sup>2</sup> 4m2022cm 直22,750円/m<sup>2</sup> 4m2022cm 小曲21,590円/m<sup>2</sup>と、先月から若干価格が下がった部分もあります。が全体的には横ばいでした。

元木の最高落札額は4m36cm 30,000円/m<sup>2</sup>での販売となりました。

◎杉丸太は4m1416cm 直15,000円/m<sup>2</sup> 4m1822cm 直15,000円/m<sup>2</sup> 4m1822cm 小曲13,000円/m<sup>2</sup> 4m2242cm 直15,000円/m<sup>2</sup> 4m2242cm 小曲13,000円/m<sup>2</sup>と、杉丸太の価格は安定しております。

元木の最高落札額は4m60cm 16,000円/m<sup>2</sup>での販売となりました。

9月も引き続き残暑が厳しい予報となっており、台風での災害が不安な時期になってきました。虫害も散見されるようになっていきますので被害を抑える為に出荷者様は早めの出荷をよろしく願っています。購入者様の引取に關しましても虫害や割れが出てくる恐れがありますので、早めの引取の協

力よろしく願っています。

8月後半より各森林組合様や個人出荷者様からの出荷が徐々に増えてきております。離島からの入船予定もありこれから全体的に出材が見込めると思われまます。社有林の生産も続いておりますのでお客様へ満足いただけるように集荷に努めて参ります。また、注文材などございましたら素材部へお問い合わせをよろしく願っています。

(本社素材課 T課長)

## ◎製品

酷暑が続く、佐賀県内では熱中症で死亡事故が発生しております。まだまだ暑い日が続くと思えますので、体調管理と熱中症対策を行ってください。

8月のお盆休みの際には、九州南部で線状降水帯が発生しており、土砂崩れ等の被害がありました。今後もゲリラ豪雨が発生しやすくなっておりますので、運転する際は安全運転をお願いいたします。

8月の当市場の相場は、

ヒノキGR土台1等上4m105X10555,000円/m<sup>2</sup> 63,000円/m<sup>2</sup>(前月比横ばい)

ヒノキGR土台1等上4m120X12055,000円/m<sup>2</sup> 63,000円/m<sup>2</sup>(前月比横ばい)

ヒノキKD土台A4m105X10580,000円/m<sup>2</sup> (前月比横ばい)

スギGR母屋角1等上38,000円/m<sup>2</sup> (前月比横ばい)

スギKD母屋角特165,000円/m<sup>2</sup> (前月比横ばい)

スギGR平角特14m105X150180(120厚同)40,000円/m<sup>2</sup> (前月比横ばい)

スギKD平角特14m105X150180(120厚同)67,000円/m<sup>2</sup> (前月比横ばい)

スギGR小割(30X45、45X45、45X60)特1プレーナ48,000円/m<sup>2</sup> (前月比横ばい)

スギGR間柱(30X105、45X105)特1プレーナ152,000円/m<sup>2</sup> (前月比横ばい)

スギ野地板2m12X小幅33,000円/m<sup>2</sup> (前月比横ばい)

スギKD柱3m105X105 A品72,000円/m<sup>2</sup> (前月比横ばい)

スギKD間柱(30X105、45X105)72,000円/m<sup>2</sup> (前月比横ばい)

スギKD小割(30X45、45X45、45X60)68,000円/m<sup>2</sup> (前月比横ばい)

8月末に西九州木材市場連絡協議会が開催されて、近況報告や意見交換が行ってました。近況報告では、製品の



## 木材動向②

### 住宅着工統計

2025年8月29日発表 7月分  
出典・建設省「統計調査報告」

#### 概況コメント

7月の新設住宅着工は、持家・貸家・分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比9.7%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比9.9%の増加となった。



2025 11/28(土) 10:00 開市

木栄会協賛 創立65周年 記念市

皆様のご来市を心よりお待ちしております。

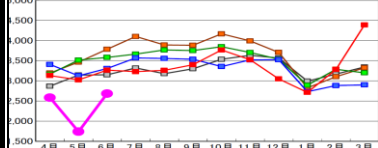
（製園建設部）

荷動きが悪い状況が続いている事や、プレカットについては建築確認申請の遅れから仕事に取り掛かれない状況で、見積等も少なくなってきた。

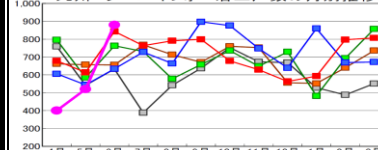
プレカットの機械は価格が高額化しており、補助事業で導入したとしても減価償却費がきつて設備投資に進みにくいとの事です。また、大手プレカット工場があらゆるルートを使って営業強化を行っているとの事でした。

当社、11月28日(土)金は木栄会協賛創立65周年記念市を開催致しますので多くの皆様のご来市の程、宜しくお願いいたします。

九州 在来軸組着工戸数の月別推移



九州 ツーバイフォー着工戸数の月別推移



山田事務所より。

は、7月30日発表6月分まで。出典、株式会社

### 全国工法別

|       | 木造     | 在来     | 2×4   | 木質PFA  |
|-------|--------|--------|-------|--------|
| 戸数    | 37,024 | 27,720 | 8,433 | 871    |
| 前年同月比 | -8.4%  | -2.6%  | -2.6% | -19.3% |

● 木質工法別に見ると、前年同月比で木造が8.4%の減少、在来軸組が2.6%の減少、ツーバイフォーが2.6%の減少、木質プレハブが1.9%の減少となった。

|       | 合計     | 持家     | 貸家     | 分譲     | マンション | 戸建    |
|-------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|
| 戸数    | 61,409 | 17,665 | 27,412 | 15,886 | 5,971 | 9,709 |
| 前年同月比 | -9.7%  | -11.1% | -13.1% | -1.7%  | -1.6% | -2.7% |

## 編集後記

◎9月に入っても猛暑が続いています。加えて、突然の雷に大雨、目まぐるしく変わる天気。外で働く皆様、本当に大変だと思います。夏の疲労が溜まったまま、秋入会になるケースもあるとか、ご自愛くださいませ。

世界各地で猛暑や大雨の被害が出て、厳しい現状があるのに、地球温暖化は嘘と言いつけているトランプさんは、政権に都合よい報道を出させていたが、これで庶民をだまそうと思っているのだろうか？一方で、先月末、スペインでは、環境活動家が、サクラダファミリアに赤と黒のペンキをかけ、政府の不十分な気候変動対策がこの夏スペインで発

生した森林火災の原因だと抗議した。気候正義(Climate Justice)といわれ、気候変動への注目を高めるために抗議行動という名のもとに有名絵画にペンキをかけるという活動。一応、これや水性のペンキを使っているらしいが...。その何が正義なのか理解できない。携帯片手に抗議行動といわれてもどうよと思ってしまう。先日、ジュラシックワールド復活の大地を観た。ミ

ュニタント恐竜ばかりで、恐竜というより、カイジジュウムビーだった。が、その中で、「地球の心配より、自分たちの心配をしたら、夏風邪でも振り払うように簡単に私たちを振り落とすだろう」という(訳すところこんな感じ?)「ヘンリー博士」のセリフが印象的だった。

## 9月の締日/市日のご案内

締日 / 9月11日(木)

市日 / 9月29日(月)

皆さまのご来市を心よりお待ちしております。

## 10月のお知らせ

締日:10月10日(金)

市日:10月28日(火)